

令和4年度 第3回 学校運営協議会 議事録（要旨）

- 1 日 時 令和5年3月13日（月） 16:00～17:00
- 2 場 所 校長室
- 3 出席者 西村会長、藤本委員、谷口委員、山口委員、村田委員、古川委員  
檜崎校長、黒田教頭、橋岡事務長、新田首席、貞廣首席  
傍聴者 1名  
その他教員 4名

4 次 第

- (1) 開会
- (2) 会長挨拶
- (3) 令和4年度学校経営計画及び学校評価について
- (4) 令和5年度学校経営計画及び学校評価について
- (5) その他
- (6) 閉会

5 協議・意見交換

<令和4年度「学校経営計画および学校評価」について>

校長より主旨説明：すべての府立学校で学校経営計画を作成し、自己診断アンケートなどを通じて評価を行い、その結果をホームページなどで外部に発信している。忌憚のない意見をいただき、より良い学校づくりの参考とさせていただきたい。

[質問] 特になし

[討議事項]

(委員)：自己診断アンケートの生徒分Q11「授業が分かりやすく楽しい」の結果が昨年度より10%以上下がっている、その原因をどのように考察しているか。

(校長)：結果については真摯に反省をしている。本校は職業学科を設置し専門教科が中心の支援学校であるが、それ以外の各教科の学習がどのようにキャリア教育と結びつくか大阪府教育センターの支援を受けながら、研修を重ねてきた。学校で習ったことがどのように自分の役に立っているかを実感できるようになることが大切で、それを生徒にどのようにフィードバックできるかを次年度も引き続き検討していく。

(委員)：三. 地域貢献の(3) 定着支援について、この数年学校と定着支援をともに行ってきたが、ほかの学校でよくあるのが、教員の転勤に伴い、2年目、3年目の支援が十分にできなくなっている。継続した支援が必要な方が毎年一定数いるので、学校と協力して取り組むことができる体制づくりを構築していきたい。

(校長)：教員の異動が、以前に比べて早くなっている。現状のルールの中で効率的な引継ぎ方法を検討している。現在、追指導専任の担当者を指名して校内での調整を行うようにしている。

<令和5年度「学校経営計画および学校評価」について>

(校長)：令和4年度の計画を基にしながら、評価や課題をふまえ3年先を見据えた計画をたてた。研究活動、追指導、部活動、検定試験、などの充実をはかり、生徒が自分の力を発揮したことが成果につながり、自信をもって何事にも取り組めるようにしていきたい。四. 働き方改革の項目

が昨年度より追加されている。学校現場が以前に比べて変わってきている。教職員のメンタルヘルスを向上させることが、ひいては生徒の指導支援の充実につながるものと考えている。生徒と共に学び、共に育つ学校運営を目指している。

[質問] 特になし

[討議事項]

(委員) : 定着支援について毎年、何件程度の相談があるのか。

(校長) : 各学年とも数名程度である。

(委員) : 企業として人材を育成することを重視しているが、業務や人間関係などのマッチングで相談してくれれば対応できることも多いが、家庭での生活リズムが乱れ、遅刻や欠勤が増えた場合に、学校との連携をどのように進めていくかが課題だと感じている。

(校長) : 就労を継続するためには余暇の過ごし方が重要になるケースが多い。地域のクラブチームを紹介したり、OB戦を開催したり追指導につなげる取り組みも行っている。

(委員) : 就職して1, 2年目は学校に相談することが中心であるが、3年目を過ぎるとハローワークに相談来所するケースが増えてくる。3年目になると仕事にも慣れてきて、別の職場で働いてみたいという相談も増えてくることも関係していると思われる。法定雇用率が上がっていることもあり、企業からの取り合わせが増えている。できれば貴校を推薦していきたい。

(校長) : 是非、担当者に知らせていただき生徒の進路先につながるようにつなげていただきたい。

校長 : 閉会の挨拶